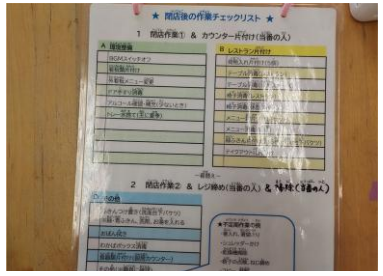
就労継続支援Ｂ型キッチンさかえ









昨年度に引き続き出展いたしました『GOODPLAZATOKYO』にて、米袋をアップサイクルした『米バッグ』に嬉しいお声をいただきました。愛用され使い込まれた事で新たな購入につながったエピソードから、一人一人が自分にできる事を楽しみながら丁寧に作るものづくりが、お客様の暮らしに寄り添い、価値として届いていることを実感しました。今後も『キッチンさかえ』らしく長く、愛用していただける製品づくりに一層励んでまいります。

レストランメンバーから意見を集め、作業手順書と作業チェックリストを新たに作成しました。
開店前の準備から閉店後の清掃まで、一連の業務を細部まで整理し、分かりやすくまとめています。このチェックリストを日々確認しながら取り組むことで、接客品質のさらなる向上を目指していきます。

キッチンさかえでは、チラシ・広報誌・名刺・封筒等の印刷、封入封緘および発送作業やノベルティグッズ制作を承ります。
また、くるりん食器（再使用食器）の無料貸出もございます。

お問い合わせ先　電話 042-540-1033　担当 斉藤

地域密着型通所介護
サポーターズさかえ





今月は４名の方がお誕生日月でした♡2 名の新しい御利用者様をご紹介させて頂きます。
　お２人とも塗り絵や装飾活動が得意で丁寧に作業に関わって頂いておりサポーターズ栄としても頼もしい方々です。今後も装飾活動など皆で取り組んで参ります。

サポーターズさかえは、１日 15 名までお越しいただけます。
空き状況等は、お気軽におたずねください。随時、見学もお受けいたします。また、ご利用日のお帰り時に、キッチンさかえが作るお弁当のご用意もできるようになりました。

お問い合わせ先　電話 080-3579-6677　担当 武山

居宅介護支援
ケアサポートさかえ

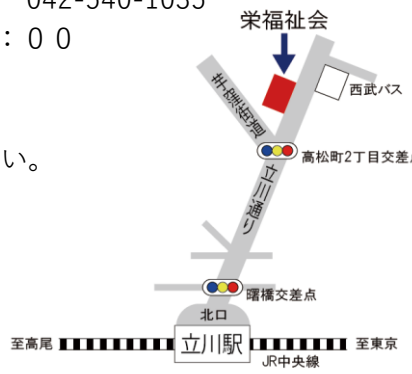
『新しい一歩を支える』



４月は新しいスタートの季節です。環境の変化に期待とともに、不安を感じる方も多い時期ではないでしょうか。
　私たちはその一歩に寄り添いながら安心して過ごせるように支えていくことを大切にしています。
　これからも一人一人の「その人らしさ」を大切にしながら、新しい一歩を共に歩んでいきたいと思います。

募　集　ボランティアさん
皆様のお力をお貸しください。
栄福祉会は地域の皆様のお力を必要としております。
ご見学、お問い合わせは、お電話にて承ります。
［お問い合わせ先］
042-540-1033（キッチンさかえ担当　斉藤）
080-3579-6677（サポーターズさかえ担当　武山）

［発行］
一般社団法人栄福祉会
［住所］
〒190-0003　東京都立川市栄町三丁目２番地
［Web サイト］
http://www.sakaefukushi.jp/
［事業内容］
〈障害者総合支援法〉
◎　キッチンさかえ（就労継続支援Ｂ型）
TEL　042-540-1033　FAX　042-540-1035
営業時間　８：３０－１６：００
休　　日　土日祝、年末年始
〈介護保険法〉
◎　サポーターズさかえ（地域密着型通所介護）
TEL　080-3579-6677　FAX　042-540-1035
◎　ケアサポートさかえ（居宅介護支援事業）
TEL　042-540-1034　FAX　042-540-1035
営業時間　８：００－１７：００
休　　日　日、年末年始
［駐車場］
ビル裏手 No16 をご利用ください。



さかふく通信　vol.168　2026.4



2 月に秋川体育館で開催された「ASport 杯」というボッチャのスポーツ大会に、キッチンさかえの利用者さんとスタッフで参加してきました。期待していた試合結果にはならなかった様でしたが、皆さん充実した一日を過ごされたとのことです。



細かな作業は苦手…と話されていましたが「やってみる」と頑張ってチャレンジしてみました❣　最初は時間が掛かっていましたが徐々にコツを掴み皆様の配布物の名前を切ってまとめる作業をやり遂げました❣　お疲れさまでした～

先月、初めて外部研修に参加しました。研修内容は『障害者の就労支援に関する基礎的研修』で、オンライン講義を事前に受講した後、対面講義とグループワークを行いました。今回の研修には、就労継続支援Ｂ型だけではなく、就労移行支援や定着支援など様々な分野の方が参加しており、大変有意義な学びとなりました。就労支援の基本から具体的な事例まで幅広く学び、日々の支援を見つめ直す機会となりました。

グループワークでは、他事業所の現状を知る事ができ、人員不足や育成・利用者確保といった共通の課題があることを実感しました。一方で、当事業所の状況を共有した際には、高次脳機能障害の方を中心に約30 名の支援を現在のスタッフ数で行っている事に対し、他事業所から驚きと称賛の言葉をいただきました。現在の取り組みに対する自信につながるとともに、法改正に伴い今後更にニーズが高まる分野であり、なくてはならない場所であるということを実感しました。

今回の学びを今後の支援に活かし、地域に必要とされる事業所としての役割を果たしていけるよう、専門性の向上に努めてまいります。

（キッチンさかえ　望月つばさ）

栄福祉会は、半身麻痺や高次脳機能障害をお持ちの方やご高齢の方が、地域の皆様と共に、自らが持つ能力を無理なく伸ばして、それぞれが持つ目標に向かい、あゆみ続けることをサポートします。